

事務事業評価表

平成14年度	主要事業計画対象の有無	無	電話	042(769)8373
担当部課名	土木部	土木計画	課	総務調整 班
事務事業名	相模原市みちの協会補助金		事業コード	32320

1 総合計画における位置づけ

政策名	第2章	質の高い都市基盤の整備を進めます	事業開始年度
基本施策名	第3節	円滑な道路交通の確保	9年度
施策名	第2施策	道路管理の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

相模原市補助金等に係る予算の執行に関する規則

3 事業概要

(1) 事業の目的		(2) 対象(誰、何)	
財団法人相模原市みちの協会に運営補助を行い、同財団が道路愛護意識の普及啓発や道路の環境美化推進等を行うことにより、市民の道路利用意識の向上を促進するとともに、道路施設等の適正かつ円滑な管理及び運営を図り、もって市民の利便及び公共の福祉の増進に寄与する。		財団法人相模原市みちの協会	
		対象数	1団体
(3) 平成13年度事業の内容		(4) 総合計画・実施計画における概要	
運営費補助金を交付した。 ・運営費等補助金 40,101千円		・道路愛護事業の推進 みちの協会との連携による道路ふれあい月間啓発街頭キャンペーン(道の日フェア)の開催など ・リーディングプロジェクト クリエイティブさがみはら推進プランでの「花のある道路づくりの推進」みちの協会との連携によるモデル花壇の設置	
		(5) 個別計画の概要	
		計画名	
		計画年次	年度～年度

4 評価指標

指標名	みちの花壇事業参加団体数目標達成率		
指標式	当該年度の参加団体数 / 当該年度参加団体目標数		
指標設定の意図	各年度の目標達成率から、市民参加意識に対するみちの協会の働きかけの成果を表す。		

5 目標と実績

[金額単位：千円]

	平成11年度	平成12年度	平成13年度(評価対象年度)		平成14年度	
	実績	実績	実績	目標	目標	
指標	100	85	a 88	b 100	100	
指標			c	d		
指標			e	f		
事業費	決算(予算)額	34,537	37,466	40,101	40,101	93,412
	人員・時間数					
	人件費	84	84	84	84	92
	その他経費					
	合計	34,621	37,550	40,185	40,185	93,504
特定財源						

6 個別評価

(1)達成度…目標をどれだけ達成したか		
評価 B ▼	A:達成している (100%)	= 、 、 の平均値 = 87.5%
	B:一部達成していない(100%> 80%)	
	C:達成していない (80%>)	

$\frac{a}{b} \times 100 = 87.5\%$	$\frac{c}{d} \times 100 =$	$\frac{e}{f} \times 100 =$
-----------------------------------	----------------------------	----------------------------

理由: 例年参加している4団体が都合により参加できなくなったため、達成できなかった。

(2)必要性…時代変化に適応した事業内容か		
評価 A ▼	A:適応している	理由: 道路整備の充実に伴い、その維持管理において愛護意識及び適正利用の普及啓発や環境美化推進はますます重要なものになっていくため、みちの協会への補助事業は必要である。
	B:一部適応していない	
	C:適応していない	

(3)経済性・効率性…費用対効果は妥当か		
評価 B ▼	A:妥当である	理由: みちの協会の行う事業においては、ボランティアなどの協力を得る等、少ない経費で事業効果を上げるように務めている。財源は補助金の占める割合が多い。
	B:一部妥当でない	
	C:妥当でない	

(4)事業の代替性…県、民間との役割分担のあり方から見て、市が実施していくことが適当か		
評価 A ▼	A:代替の可能性ない	理由: 市が政策的に設立した財団法人であり、100パーセント出資しているため。
	B:代替の可能性低い	
	C:代替の可能性高い	

(5)市民満足度…対象市民の満足は得られているか		
評価 B ▼	A:満足できる	理由: 市域全体に及び「道路」に対し、事業を展開できるエリアが一部であるため。
	B:一部満足できない	
	C:満足できない	

(6)有効性…当該事業は上位の施策を実現する上で有効か		
評価 A ▼	A:有効である	理由: 道路管理の充実に図るため、道路の愛護意識及び適正利用の普及啓発や環境美化推進を行うみちの協会の活動は有効であり、その支援は必要である。
	B:一部有効である	
	C:有効でない	

<p>評価バランスチャート</p>	<p>成果向上の余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明:</p> 補助額を増すことにより、みちの協会の行う事業の量や質をより充実し、その活動の成果を向上することができる。
	<p>コスト改善余地</p> <input checked="" type="checkbox"/> ある <input type="checkbox"/> ない		<p>説明:</p> みちの協会自身で財源を得る方法を検討することにより補助額を減らすことができる可能性がある。

7 総合評価

評価 A ▼	他自治体の類似事業との比較	今後も、引き続き更に少ない経費で成果が上げられるよう務めていく必要があるものの、みちの協会では、各種啓発イベントの開催、機関誌の発行、「みちの花壇」及び「みちの造形展」開催などを行い、助成目的に対し一定の成果をあげている。 また、みちの協会自身での財源確保など自主財源の拡大を考えていく必要があるが、普及啓発や環境美化推進という収益を得ることが考えにくい事業が多いため、市の支援は今後も継続していく必要がある。
	今後の進め方	
	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	
	<input type="checkbox"/> 見直し	
	<input type="checkbox"/> 廃止	
<input type="checkbox"/> 完了	説明	

8 二次評価における変更点

--